

U-12サッカーリーグin北海道
道東ブロック 網走地区リーグ2018（後期）



- 主 催 : (公財) 日本サッカー協会
(公財) 北海道サッカー協会
- 主 管 : 網走地区サッカー協会 第4種委員会
- 日 程 : 2018年 7月~9月
- 会 場 : 網走地区内 各サッカー会場

U-12サッカーリーグin北海道 道東ブロック 網走地区リーグ2018(後期)

開催要項

1.大会の目的

この大会は以下の目的で行う。

- ・ 網走地区のサッカー少年・少女全体のレベルアップを図る。
- ・ 多くの子供たちに試合出場の機会を与える。
- ・ 網走地区の指導者全員がクラブの枠を超え一致協力し、長期的視野で選手育成を図る。

2.名称

U-12サッカーリーグin北海道 道東ブロック 網走地区リーグ2018(後期)

3.主催

公益財団法人日本サッカー協会、公益財団法人北海道サッカー協会

4.主管

網走地区サッカー協会 第4種委員会

5.参加資格

- ① 「参加チーム」は今年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。
- ② 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。
- ③ 第4種年代の女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一「クラブ」内の他のチームから選手を参加させることも可能とする。
- ④ 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1名以上が日本サッカー協会公認資格(D級コーチ以上)を有すること。
- ⑤ 帯同審判員として、日本サッカー協会公認資格(サッカー4級審判員以上)を常に帯同させること。帯同審判員は大会期間中、審判業務に当たる。
- ⑥ 「参加選手」は、連続の試合に耐えうる健康体であること。
- ⑦ 「参加選手」は、スポーツ安全協会傷害保険もしくはこれに準ずる障害保険に加入していること。
- ⑧ 「参加チーム」は「U-12サッカーリーグ指導者講習会」に引率指導者1名以上を必ず参加させること。
- ⑨ 各チームの登録選手は原則として本協会発行の選手証(電子選手証)を持参しなければならない。
- ⑩ 成績上位2チームは9月24日(月)に行われる道東ブロック予選(市)に出場すること。

6.競技規則

- ① (公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。
- ② 競技者の用具
 - ・ すねあて着用を義務付ける。
 - ・ スパイクシューズは危険を避けるため、取替えポイントでないものとする。
- ③ ユニホームはFP・GK共に正・副の2種類を必ず用意すること。ただし、複数での参加チームはビブス等の使用を認める。
※ユニホームについてはJFA「ユニホーム規定」を遵守すること。

7. 競技方法

- ① 参加チームによるグループリーグを行う。
 - ・参加チームを次の4つに分けてグループリーグを編成する。
 - トップリーグ(事務局…AAFA4種事務局)
 - 斜網エリアリーグ(事務局…網走市)
 - 北見エリアリーグ(事務局…リトル)
 - 遠紋エリアリーグ(事務局…紋別ドルフィンズ)
 - ・各グループ1回戦もしくは2回戦の総当たりリーグ戦を行う。
 - グループリーグでは、勝点(勝-3点、引分-1点、負-0点)、得失点差、総得点、当該チームでの戦績により順位を決定する。それでも同率の場合は、リーグ戦終了後PK方式(3人ずつ)により決定する。
- ② 競技のフィールド
 - ・フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mとする。
 - ・ゴールは少年用サッカーゴールを使用する。
 - ・その他ペナルティエリア等の長さは「8人制サッカー競技規則」に準ずる。
- ③ 試合球は少年用4号球を使用(地区協会で作意)する。
- ④ 競技者の数及び交代
 - ・1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はGKとする。
 - ・交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
 - ・GKは事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- ⑤ ベンチに入ることができる人数に制限をもうけない。
- ⑥ 審判は1人制(主審1人、予備審判1人)で行う。ただし、審判員育成の観点から、該当試合のチーム監督が了承した場合、3人審判制(主審1人、副審2人)で行うことも認める。
- ⑦ 試合時間
 - ・試合時間は前、後半ともに20分間とし、ハーフタイムは5分とする。
- ⑧ テクニカルエリアにいる監督または指導者が判定に対して異議を示し、主審から注意を受けた後に、再度異議を示した時は、主審の判断により退場処分とし、それ以降はベンチからのコーチングを不可とする。
- ⑨ 暑熱下において、前後半中ほどに飲水タイムを採用する。飲水タイムの適用は、各試合前に大会本部が決定し、全コートで適用する。

8. 懲罰

- ・本大会期間中に警告を2度受けた競技者は、本大会の次の試合に出場できず、それ以降の措置については大会規律委員会において決定する。
- ・本大会期間中において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については大会規律委員会において決定する。
- ・本大会規律委員会の委員長は第4種委員長が務め、委員は副委員長・事務局長・審判委員長とする。
- ・競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。

8. 試合日程

- ① 開会式…各グループごとに、第1節試合開始前に開会式を行う。
- ② グループリーグ
 - 2018年7月22日(日)、8月12日(日)、19日(日)、9月2日(日)
 - ・上記日程の中で各グループごとに必要な日数を開催日として決定し、実施する。
 - ・全試合を消化することを前提とする。そのために、別日程での開催などは、各グループごとに柔軟に対応すること。
 - ・一方のチームの都合により、やむを得ず試合開催ができなくなった場合は、そのチームの不戦敗(0-5)とする。
- ③ 閉会式…グループリーグ最終節試合終了後、同会場において閉会式を行う。

9.参加申し込み

- ① 前期に参加したチームは後期も参加することを基本とする。
前期に参加し、後期不参加のチームのみ期日までにその旨を大会事務局に報告すること。
- ② 大会参加料
※リーグ終了後、経費を算出し、後日徴収する。
- ③ メンバー提出
7月11日(水) 午後7時まで
網走地区サッカー協会第4種委員会事務局
事務局長 安達 伸吾(北見オニオンキッドサッカー少年団)
PCアドレス 職場 ktm-kita-s7@hokkaido.school.ed.jp
連絡先 090-8374-3181

10.その他

- ① メンバー用紙については、各チームにおいて事務局から送付された自チームのメンバー用紙3枚1組を1部として試合数分の部数を印刷し、試合開始15分前迄に1部提出すること。
- ② 各チームともスポーツ傷害保険に加入すること。
- ③ ゴミ等は、各チームで責任をもって持ち帰ること。
- ④ 路上駐車及び駐車場の通路への駐車は厳禁とする。
- ⑤ 参加選手の持物については氏名とチーム名を記入し、忘れ物がないように周知・徹底すること。
- ⑥ 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は本大会事務局において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと。
- ⑦ 試合中、当該チーム以外のピッチ内の使用は認めない。

網走地区U-12サッカーリーグ 競技規則

ルールの基本的な考え方

- ① 審判1人制を採用し、選手のフェアプレー精神を養う。
- ② 審判員を信頼し、判定に対して不平不満を表さない。
- ③ 審判員の決定に従いつつ、ラインアウトについてはプレーヤーから申告する姿勢を養う。
- ④ 指導者や保護者など、大人のフェアプレー精神も養う。

審判員の試合運営上の留意点(共通理解)

- ① 1人制でおこなう。
- ② 審判員は、反則・オフサイドの判定をくだせるような位置取りをしながら判定をおこなう。
- ③ フェアプレーの精神、良いマナーを養う目的から、判定に対してや、他の人に対しての言動にも注意を払い、指導して

ルールについて(8人制の主旨を徹底させるためにのみ必要な変更を行う)

① 競技のフィールド

- ・ピッチサイズ：縦68m、横50m
- ・ペナルティエリアの縦：12m
- ・ペナルティマーク：8m
- ・ペナルティアーク：7m
- ・ゴールエリアの縦：4m
- ・ゴールの大きさ：5m×2m(少年用ゴール)

② ボール

- ・試合球は少年用4号サッカーボールとする。

③ 競技者の数

- ・8人(内1人はゴールキーパー)とする。
- ・交代は「自由な交代」とする。
- ・ベンチに入る競技者の数については、制限をしない。

④ 競技者の用具

- ・すねあて着用を義務付ける。
- ・ゴールキーパーのユニフォームについては、ピブスなどでの対応も認める。
- ・スパイクについては危険防止のため、固定式のものとする。

⑤ 審判

- ・主審1人、予備審1人の2人制とする。
- ・審判育成のため3人制を用いる事もある。

⑥ 試合時間

- ・試合時間は40分(20分ハーフ)とする。
- ・ハーフタイムのインターバルは5分以内とする。

⑦ 反則と不正行為

- ・退場の場合、該当チームは交代要員の中から競技者を補充する(常に8人でのプレー)。
 - ・ベンチにいる役員(監督、コーチ、スタッフ等)が、判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行ない、主審から一度注意を受けた後、再度何れかの役員が同様な行為をした場合は、主審の判断により、その役員を退席処分とし、それ以降のベンチからのコーチングは、不可とする。
- ※ ポジティブなコーチングを心がけましょう。

⑧ フリーキック

- ・相手競技者は7m以上ボールから離れる。

⑨ コーナーキック

- ・ボールがインプレーになるまで相手競技者は7m以上コーナーアークから離れる。

